

先進地調査等報告書

平成31年3月29日

天童市議会議長 様

会派名 清新会

代表者氏名 村山俊雄



下記により、会派において調査（視察）が終了したので報告します。

記

期 間	平成30年7月4日（水）から平成30年7月6日（金）まで
調査（視察）先 調査項目	1 7/4（水）和歌山市 「ICT教育について」 2 7/5（木）大阪府和泉市 「観光振興戦略プランについて」 ※7/6（金）に予定されていた兵庫県川西市「行政経営品質向上プログラムについて」は、平成30年7月豪雨の影響で、前日に受入れ不可能となり、調査を行うことができなかった。
調査（視察）目的	先進的な他市議会の取り組みから、課題の解決に向けた参考とする。
市政との 関 連 性	1 本市においてもタブレットを導入したICT教育の推進を図っているため、今後の参考とする。 2 本市の観光をこれまで以上に全国に発信していくために、効果的な手法等を調査する。
調査（視察）内容	1 「ICT教育」について ・ICT教育導入の経緯 ・導入による効果（実績） ・情報化に対応する教育の現状と課題 ・今後の取組み など 2 「観光振興戦略プラン」について ・プラン策定の経緯 ・現状と課題 ・体験型観光の具体的な取組み など
市政の課題 への参考等	ICTを活用した教育を推進するためには、教員等の職員の指導能力の向上が課題である。観光振興を図るためには、観光資源だけでなく宿泊施設などの設備の充実が必要であり、市全体としての取り組みが必要である。

参加者の感想等
(抜粋)

《和歌山県和歌山市：「ICT教育について」》

- ・タブレット端末活用事業を取り入れてからは、従来の授業ではできなかった事が出来、生徒が自主的に復習、予習を行ったりし、意欲的に授業に参加する態度を見せるようになった。その結果として全国学力学習の向上が見られたというのは、勉強嫌いの生徒がICT活用の授業に惹かれ、学習に目覚めるという良い成果を感じとった。
- ・教員は、自分自身がICTを活用した教育を受けていない為、教員のICT活用指導能力として約3分の1の教員が授業中のICT活用に自信を持っていないのが課題であるという。
- ・天童市でもICT教育の導入を進めているが、環境整備とともに教職員等の能力向上に努める必要がある。

《大阪府和泉市：「観光振興戦略プランについて」》

- ・あらゆる媒体を活用して情報を発信することは当然のことで、情報量は認知度に比例する。
- ・天童市でも観光振興のためのプランがあるが、多岐にわたる事業を総合的に対応するチームを育成する必要がある。
- ・宿泊施設が無いので、市内周辺の北部・南部地域の来訪者に伸び悩みが見えるという。いくら誘客しても宿泊地で散財するので、和泉市として投資効果・経済効果を望めないのが悩みの種ではないかと思った。

※個人ごとの報告書は別紙のとおり